

使いやすいカスタマイズが簡単な「ファイルメーカー」で煩雑な校務を省力化

データベースソフトウェアのFileMakerは、簡単に生徒情報や成績などのデータ収集、管理、出力に活用でき、学校教育の現場で大いに活用されています。とりわけ作業量の多い校務、書類のフォーマット化、生徒の成績一覧など、データに基づいて次のステップを決める業務の省力化に貢献。FileMakerの導入方法と、FileMakerをベースにした校務支援システムの導入事例を紹介します。

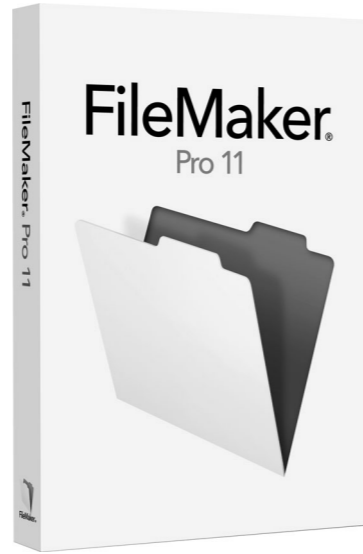
FileMakerと学校教育

FileMakerは、多くの教育機関で導入・活用されているデータベースソフトウェアです。特にアメリカでは、250の学区、トップ100の大学で利用されるなど、たくさんの導入事例があります。日本においても、幼稚園、小・中・高校から大学、大学院などの高等教育機関まで幅広く導入され、使用されています。

IT化が学校にも十分浸透した現在では、校内に蓄積される膨大な情報の集約、蓄積、活用は学校運営・経営上の課題です。カスタマイズが簡単なFileMakerは、作業負荷の大きい校務の効率化や教務情報管理などのニーズに、柔軟に対応します。また、データベースソフトウェアならではの Powerful さで、膨大なデータ管理が求められる教科指導や進路指導にも幅広く活用されています。

FileMakerを導入する3つの方法

- 学校の業務でFileMakerを導入するには、3つの方法があります。
- 1) 自分で使うFileMakerソリューションを自力開発
 - 「使いやすいデータベース」として定評があるFileMakerは、特別なプログラミング知識や、開発スキルを必要としません。自分で使いやすいようにすることができます。
- 2) 学校独自のFileMakerソリューション開発をシステム受託開発業者にアウトソース
 - FileMakerは使いやすさに加えて拡張性にも優れています。そのためネットワーク環境や高いセキュリティが必要になる大規模システ



- FileMakerの教育現場での導入事例は www.filemaker.co.jp/school
- FileMakerの最新バージョン「FileMaker Pro 11」の詳細は www.filemaker.co.jp
- 「FileMaker Pro 11」の無料評価版ダウンロードは www.filemaker.co.jp/pro_trial
- FBAのコンサルタント企業を探すには www.filemaker.co.jp/consultant

も構築できます。FileMakerには、ファイルメーカー社の審査を受け、認証された開発パートナー企業だけが参加できるFBA (FileMaker ビジネスアライアンス) という組織があります。信頼できるFBAメンバー企業に開発のアウトソースすることで学校独自のシステムが構築可能です。

- 3) FileMakerをベースに開発されたパッケージソフトを導入
 - FBAメンバー企業がFileMakerをベースに多くのノウハウをつぎこんでオールインワンのパッケージソリューションを開発・販売しています。このソリューションを導入し、さらに学校独自の使い方に合わせてカスタマイズすることができます。代表的な例として、すでに全国約300校で導入されている校務支援システム「スクールマスター」があります。この開発・販売元のウェルダンシステム株式会社もFBAのメンバー企業です。

FileMakerのアカデミックライセンス 教育機関で FileMaker導入に最適なプログラム

FileMaker製品ラインのソフトウェアを5ライセンス以上まとめて購入する場合、ボリュームディスカウント価格が適用される割引プログラムが利用できます。教育機関であれば、通常の割引プログラムよりもさらに割安なアカデミック価格*でボリュームライセンスの購入が可能。たとえば、FileMaker Pro 11を5ライセンス購入する場合、

通常の割引プログラムでは1ライセンスあたり34,200円ですが、アカデミック価格では20,520円となります**。ボリュームライセンスプログラムでは、通常のパッケージ製品よりも低価格でお購入できるだけでなく、付属品保管スペースの無駄、ユーザ登録・ソフトウェア管理・バージョン管理の手間などの問題もすべて解消されます。

* 対象教育機関:厚生労働省認可の保育園あるいは文部科学省認可の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校、盲学校、聾学校、養護学校、各種学校(認可を受けていない学校、および政府や地方公共団体が運営する研究機関、美術館、博物館、図書館等の公益法人や団体は対象外)。NPO法人もアカデミック価格でボリュームライセンスが購入可能。対象NPO法人:特定非営利活動促進法(NPO法)に基づき内閣府または各都道府県によって認可され法人格を取得した「特定非営利活動法人」。

** ボリュームライセンスアグリーメント(VLA)の場合。価格はすべて希望小売価格(税別)。

「スクールマスター」が校務をサポート

FileMakerをベースに開発した校務支援システム「スクールマスター」を販売しているのがウェルダンシステム株式会社(代表:03-5318-5660)。「スクールマスター」は公立中学版からスタートし、小・中・高校版と発展。最近では中高一貫版のニーズが急増しています。「スクールマスター」最新版はバージョン5.5ですが、自治体で一括

導入する場合は、グループウェアやコミュニケーションツールも搭載しているため別構成でバージョン6となります。ウェルダンシステム株式会社は、現場主義を掲げ、先生方のニーズに応えるシステム開発を行い、校務をサポートするパートナー企業となっています。中高一貫版第1号ユーザーである目黒星美学園の導入事例を紹介します。

導入事例紹介 ▶ 省力化に大きく貢献

目黒星美学園中学校・高等学校(東京都世田谷区)

目黒星美学園中学校・高等学校は1学年約100名、全校で約600名の生徒が在籍するカトリック・ミッションスクール。「スクールマスター」導入にあたった学習指導部の小池哲二教諭と進路指導部長の北野勝利教諭に話をうかがいました。

— 「スクールマスター」導入の経緯をお聞かせください。

小池 それまでは教員が自主的に作ったプログラムで定期試験の成績処理を中心に処理していましたが、学籍や調査書などできるだけ一括して処理をしたいと考え、教務が中心となって検討し、平成17年度に導入しました。

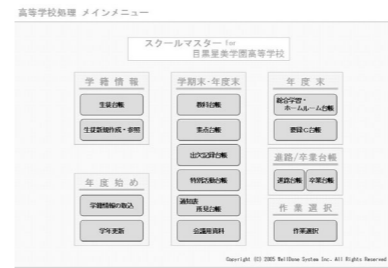
— 「スクールマスター」のどこがよかったですか。

小池 数社にヒアリングをしましたが、本校では本当に必要な機能だけ欲しかったのと、あとからでも簡単にカスタマイズやプログラムの追加に対応してくれるところです。使いはじめてみると、ずいぶん省力化が図れました。導入コストが押さえられたのも魅力的でした。

北野 指導要録と通知表が一つの作業のできるの为本当に楽になりました。下書きデータを流し込むだけでいいので作業時間が短縮され、その時間を指導や研究に振り分けられます。

— 貴校独自に工夫された点は?

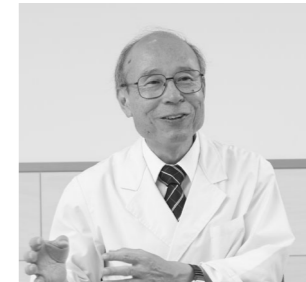
小池 本校ではグレード制をとっており、特に3年生と4年生(中3と高1)で5教科の総合点によるグレードをつくっています。このグレード分けするときに正確に並べ替えられてきちんと順位がつくこと、属しているグレードを入れておく場所をつくることなど、まったく



高校メインメニュー

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

成績入力一覧画面(例)



小池哲二教諭



北野勝利教諭

通知表個別画面(例)

スクールマスターについては <http://www.welldone.co.jp/products/sm/index.htm>

— 運用は?

小池 職員室の奥に成績処理室をつくり、専用サーバーを置き、入力用パソコンを9台設置しています。この部屋のパソコンはインターネットには接続させていません。「スクールマスター」専用端末としてデータの流出を未然に防ぐ構成にしています。先生方には空き時間を利用して入力してもらいます。

北野 入力の指導は、担任が副担任に、ベテランが新人という具合に先生方同士で使い方を教え合ってもらって、技術やノウハウを誰もが同じように蓄積できるようにしています。

— 今後のシステム開発の計画は?

小池 現在は進路指導によりフィットするシステムをウェルダンシステムさんと計画中で、今年度の大学入試本番に本格運用できるよう準備を進めています。

目黒星美学園では、「スクールマスター」が校務の作業効率化に大きく寄与し、正確なデータ蓄積や帳票出力、先生方の業務軽減で成果を上げ、進路指導にも活用の場を広げようとしています。

【お問い合わせ窓口】

FileMaker ボリュームライセンスご相談窓口

☎0120-983-878 受付時間:10:00~17:30(祝祭日を除く月~金)

<https://sales.filemaker.co.jp/>

しています。